

自治体枠越え看護師派遣

看護「再考」

山陰の事情

〈4〉



江尾診療所に派遣され、カルテを確認する佐野美紀看護師＝鳥取県江府町江尾、同診療所

鳥取県日野町の日野病院 看護師を1年間の予定で派遣。隣町の江府町にある江府町国民健康保険江尾診療所（鳥取県江府町江尾）に戦力で頼もしい。本当に

りがたい」と感謝する。派遣される佐野美紀さん（29）は、日野病院に新卒で採用され、9年間は主に病棟で勤務。「挑戦してレベルアップしたい」と提案を受け入れた。午前は診察介助など外来業務、午後は訪

といった状況があるが、両町と日南町の日野郡全体で地域医療の在り方の検討を始めたことが大きい。日野郡は、全国で人口最少の鳥取でもとりわけ人口減少と高齢化が急速に進む地域。一方、郡内には日野病院と同じ病床数の日南病院がある。日野病院の孝田雅彦院長は「人口減少で患者が減れば職員も減らさざるを得ないが、二つの病院を同

中山間地域 役割分担で人材維持

問診療に向かう。それまで診療所の看護師は8人で、フルタイムで働けるのは2人。人材の補強と中核的存在の育成が課題だった。

主任看護師に若手を起用しており、近藤「子看護師長は「早いうちからできることを増やして成長してほしい」と話す。こうした事情もあり、自治体の枠組みを越えた看護師の人材交流が実現した。

中山間地域で病院は福祉との関わりが強い。訪問診療・看護では家の様子も確認し、例えば独居高齢者がきちんと生活できているかどうかとも観察する。病院が福祉施設と連携しながら患者の生活を支える。地域で住民が安心して住み続けられるために、病院間の広域連携を深化させる必要がある。（米子総局報道部・藤本のみり）

共倒れを招く 日野病院を運営している日野病院組合には、日野町に加えて江府町も参画しており、人事交流がしやすい

今後、日南、日野両病院



山陰社会

題字 小阜 彩海（東出雲中一年）